



みどり

第382号 **公益社団法人  
徳島県環境技術センター**

発行 徳島市津田海岸町2-33  
電話 (088) 636-1234(代)  
発行責任者 松原 義輔  
編集者 原岡 艶甲

## 各地で地区報告会 開催

県環境技術センターは、平成 23 年 11 月 25 日の三好地区報告会を皮切りに、県内 7ヶ所の旧支部管内ごとに地区報告会を開催した。

各地区の報告会には、松原会長、原岡専務理事、川人常任理事が出席、会長が日頃の事業への協力や公益社団法人への移行の際の協力に対しお礼を述べた後、理事会で審議した内容の説明や今年度の事業の進捗状況及び県が進めている一括契約の推進状況について報告した。

まず、原岡専務理事より、理事会で審議した内容や決定した事項につき報告、次に川人常任理事が、各事業の進捗状況や一括契約の内容などについて、資料を元に説明した。

会長は、「支所の問題については、皆さんから存続せよとのご意見を多く頂いたが、そのためには財源の確保が不可欠、支所職員は、ほぼ受付業務だけを行っているので、設置届けの際に負担していただくのが、一番公平と思われる。よって今後、県担当課やメーカー会員さんとあらゆる可能性について協議をしたい」と答えた。

尚、報告会の開催状況は下記のとおり

11月25日(金)	AM10:30	三好地区
同	PM2:00	美馬地区
11月30日(水)	AM10:30	海部地区
同	PM2:00	阿南地区
12月7日(水)	PM2:00	徳島地区
12月9日(金)	AM10:30	阿北地区
同	PM2:00	小松島地区



挨拶する松原会長



説明する川人常任理事



H 23/11/25  
三好地区報告会



H 23/11/25  
美馬地区報告会



H 23/11/30  
海部地区報告会



H 23/11/30  
阿南地区報告会



H 23/12/ 7  
徳島地区報告会



H 23/12/ 9  
阿北地区報告会



H 23/12/ 9  
小松島地区報告会

# 浄化槽普及促進部会 開催

県環境技術センターは、12月16日(金)午後2時から浄化槽普及促進部会を開催した。

徳島県でも、不況の影響から、浄化槽の設置数が年々減少しており、平成22年度においては、H10年度の約半数になっている。

しかし、徳島県は、汚水処理人口普及率が全国ワースト1であり、15万基の単独浄化槽と、5万の汲み取りトイレ使用世帯に対する、生活排水対策は急務である。

よって、徳島県の水環境保全と県内の浄化槽業界の発展のためには、単独浄化槽及び汲み取り世帯に対し、合併浄化槽への転換が求められる。

この部会は、センターのメーカー会員をメンバーとし、他県での取り組み事例等の情報交換を行い、具体的な対策案を練り、県下の市町村に対して合併浄化槽への転換を呼びかけることを目的に設置した。

初回の部会開会にあたって、松原会長がその趣旨を説明し、議事に入った。

まず、議題1の部会設置規程については、理事会で承認された規程を原岡専務理事が読み上げ内容を説明した。

議題2の部会長・副部会長の選任については、初対面の人が多いため、次回の部会に決めることとし、議題3の今後の活動については、資料をもとに、PR活動や、水質分析結果の追跡調査などを行うと説明した。

最後に、先の理事会で、決めた、設置届出書に対する負担金の問題を提案し、メーカー会員に協力を仰いだ。

今の時期、新たな負担は厳しいという意見が多かったが一方で、メーカーとして、必要な、納得のいく負担金なら、可能という意見もあり、今後も引き続き負担の方法等につき、当部会で協議していくことになった。



H 23. 12. 16 浄化槽普及促進部会の様子

# とくしま動物園で 広報活動

県環境技術センターは、12月23日に恒例事業となっている、とくしま動物園での広報活動を行った。

この広報事業は、とくしま動物園が6年前に、穴吹川で保護された、オオサンショウウオを保護・飼育していることをきっかけに、毎年クリスマスの時期に実施しているもので、今年で6回目となる。(サンショウウオはセンターのマスコットキャラクターでもある)

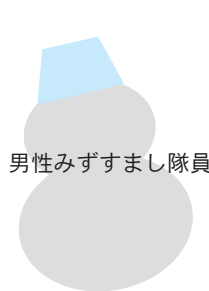
当日は、寒波の影響で気温も低かったが、それでも大勢の来場者があり、保護者の方にアンケートに協力していただいたり、アニメの広報用DVDを会場で放映したりして、浄化槽の適正な維持管理に関する啓発を行った。

また子供たちにも、環境クイズや魚釣りゲーム、環境絵本の配布など、楽しみながら水環境の大切さを知ってもらうイベントを実施した。

この啓発活動を通じて、来場者には、生き物にとって水が非常に大切なものだということが分かってもらう事が出来、非常に有意義なものであった。



環境クイズ大会



男性みずすまし隊員



魚釣り

**23年度  
管理士試験**

**合格率 21.6%**  
**前年比 1.5%ダウン**

（財）日本環境整備教育センターは、12月7日、平成23年10月23日に全国5会場（宮城県・東京都・愛知県・大阪府・福岡県）で実施された浄化槽管理士試験の結果を発表した。

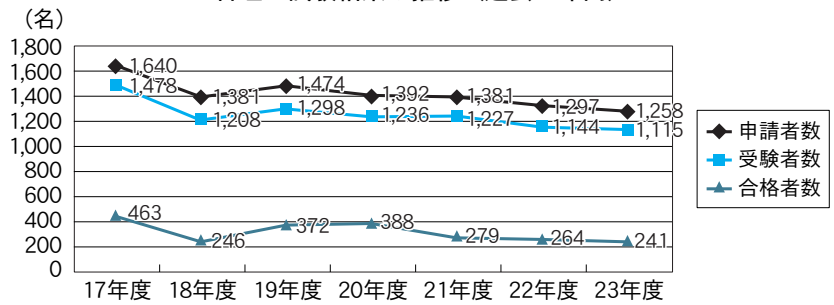
それによると、受験申請者数は1,258人（前年度1,297人）そのうち1,115人（同1,144人）が受験した。合格者数は241人（同264人）で合格率は21.6%（23.1%）で昨年度比1.5%の減少となった。

尚、合格基準点は総合得点65点以上となった。  
会場別の合格者は次のとおり

浄化槽管理士試験合格者数の推移

年 度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
申請者数	1,640	1,381	1,474	1,392	1,381	1,297	1,258
受験者数	1,478	1,208	1,298	1,236	1,227	1,144	1,115
合格者数	463	246	372	388	279	264	241
合格 率	31.3%	20.4%	28.7%	31.4%	22.7%	23.1%	21.6%

管理士試験結果の推移（過去7年間）



- 宮城会場 23名（前年度17名）
- 東京会場 79名（同 87名）
- 愛知会場 58名（同 69名）
- 大阪会場 45名（同 60名）
- 福岡会場 36名（同 31名）

**県内管理士数856名に！**  
**若い世代の養成急務**

（財）日本環境整備教育センターの報告によると、平成23年12月8日現在における徳島県内の浄化槽管理士数は856名（21年3月末763名）となっている。男女の内訳では男性757名、女性99名であった。また、県内の管理士数を年齢別に区分すると右の表のとおりである。

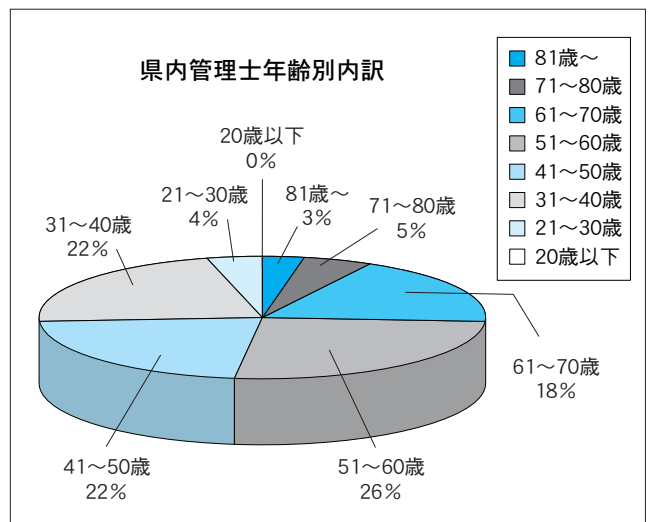
30歳以下の若い世代の資格者数が40名（4.6%）と極端に少なく、また、現役を離れた61歳以上の資格者が218名（25.5%）となっており、10年後に現役を離れる51歳～60歳の年代の資格者数が222名（25.9%）で61歳以上を合わせると、440名51%と全体の半数を超えている。

本県には、約20万基の

＜県内年齢別管理士数＞  
平成23年12月現在

年 齢	人数
81 歳 ～	22 名
71 ～ 80 歳	45 名
61 ～ 70 歳	151 名
51 ～ 60 歳	222 名
41 ～ 50 歳	188 名
31 ～ 40 歳	188 名
21 ～ 30 歳	38 名
20 歳 以 下	2 名
計	856 名

浄化槽が設置されており、近い将来には、管理士不足が予想されるため、早急に次世代の資格者養成が必要となっている。



＜参考＞徳島県における保守点検業者登録状況

県知事登録保守点検業者数 146 社  
登録管理士数 481 名  
20万基 ÷ 481名 = 415基/人



# 信楽松茸 食べ放題ツアー実施

絶好のとまでは言えないまでも松茸日和？（傘が開いたり閉じたり）に恵まれた11月20日(日)、県環境技術センターは、滋賀県の信楽に松茸・近江牛食べ放題ツアーを開催した。事前に会員の皆様に参加を募集した結果、食べる前からすでに満腹？といったおなかの某社長を筆頭に、会員・職員で21名の参加があった。

井内副会長の出発挨拶の後、一行は、バスの中で、信楽焼や琵琶湖にまつわるクイズなどを楽しみながら、まずは、信楽焼の陶芸体験が出来る「信楽陶芸村」へ向かうことに。

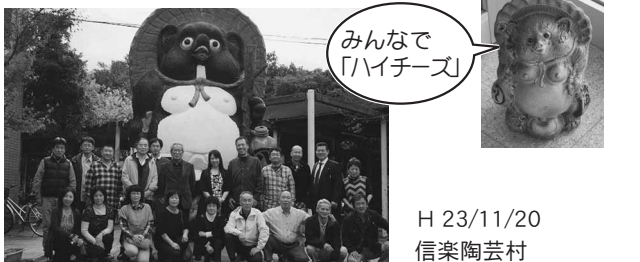
ここで、タヌキの焼き物についてひとしきりレクチャーを受けた後、いよいよ作品作りに挑戦。原岡専務は、先ほどのお兄さんの、タヌキの置物がオスなのは、商売では『前金』が肝心だからとの説明に感銘を受け、その部分を重点的且つ念入りに作っていた。他にも、後ろに振り返ったタヌキやタレ目・デベソ、果てはしかめっ面のような笑顔やちょっと強面風など、同じ型から作ったと思えない個性豊かなタヌキができあがり、作者のキャラが強く反映された陶芸体験となった。

続いていよいよ本番の食べ放題に突入。お店は、お客で満杯で、ここだけ不景気な世の中とは無縁のような空間となっていた。

鍋には最初から松茸とお肉がてんこ盛り。皆さん最初はおいしいな～・柔らかいでえなど、味わって食べていたが、これでもかと云わんばかりに追加の松茸と肉が次々と投入され、さしもの猛者達も最後まで持たずあっさりとダウンしていた。

満腹になったところで、到着時間当てクイズなどを楽しみながら一路竜王の三井アウトレットパークへ。思い思いの買い物を楽しんだあと、帰路についた。

帰りのバスの中でも、じゃんけん大会やビンゴになった人が脱落する逆ビンゴなどを楽しみ、予定より早く7時過ぎにはセンターに到着、全員が無事に楽しい1日を終えた。



H 23/11/20  
信楽陶芸村



陶芸体験



# 水質計量便り

## ～LOHAS (ロハス) な生活～

「LOHAS」日本でもマスメディアにとりあげられ、ポピュラーな言葉になりました。

LOHASとはLifestyles of Health and Sustainabilityの頭文字をとったもので、自己の健康に気を使いながら、同時に環境や自然保護にも気をつかうライフスタイルのことです(\*^\_^\*)

- 本来 LOHAS の始まりは健康や環境、社会正義、自己実現や持続可能な暮らしを重視する消費者を対象とした市場をあらわすマーケティング用語で、主な分野としては①持続可能な経済として、省エネ商品や代替エネルギーなど。
- ②健康的なライフスタイルを目指すオーガニックや自然食品など。
- ③代替医療として、自然治癒や東洋医学など。
- ④自己開発のために、ヨガやフィットネスなど。
- ⑤環境を配慮したライフスタイルとして、環境配慮住宅やリフォームなどがあげられています。アメリカにおいては成人の約3割に支持されているそうです!(^\_^)!

この背景には「環境問題や食の安心・安全、心の健康などがバランスのとれた生活」を求める人が増加しているのでしょうね(^\_^)

私たちは、化石燃料の消費による大量生産、大量消費により豊かで便利な生活を手に入れた一方、深刻な環境汚染や地球温暖化など環境問題を引き起こしてきました。

かといって、対策として昔の暮らしに戻る事や、不便な生活を強いられたい、強制的な環境保全となると、難しい…((+\_+))

そんななか、自分らしい生き方を考えたとき、LOHASな生き方というのが自然に受け入れられたのかもしれないね。

皆さんも LOHAS 的な生活はいかがですか？ (^。^)

by koizumi

# 事務局だより

## 法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

### ○11条検査

日程1：平成24年2月13日～2月24日

地 区：鳴門市・藍住町・北島町・松茂町・板野町・上板町・石井町・神山町・佐那河内村

### ○11条検査（一斉検査）

日程2：平成24年2月27日～3月5日

地 区：つるぎ町

### ○11条検査（督促検査）

日程3：平成24年2月27日～3月5日

地 区：美馬市・つるぎ町

### ○11条検査

日程4：平成24年3月6日～3月14日

地 区：阿波市・吉野川市・美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町

### ○7条検査

日程1：平成24年2月20日～2月24日

地 区：美波町・牟岐町・海陽町

日程2：平成24年3月5日～3月9日

地 区：阿南市・小松島市・那賀町・勝浦町・上勝町

